



Creating the Future with Adhesive Technologies

Linkage + Technology

LINTEC

夢をカタチにする粘着技術のリンテック

会社概要

■本 社	東京都板橋区
■証券コード	7966(東証1部)
■設 立	1934年(昭和9年) 10月15日
■資本金	232億円(18年3月末)
■従業員数	4,794人(18年3月末):連結
■売上高	2,490億円(18年3月期):連結
■決算日	3月31日
■事業内容	粘着製品、粘着関連機器、特殊紙、 剥離紙・剥離フィルムなどの開発・製造・販売
■事業拠点	国内連結子会社: 3社 海外連結子会社:37社



1934年
(昭和 9年)

**ガムテープメーカー「不二紙工株式会社」
設立(東京・板橋)** ※1984年 FSK株式会社に商号変更



1960年
(昭和35年)

**ラベル用粘着紙・粘着フィルムの
製造・販売を開始**

以降、二輪・自動車、屋外装飾関連などの
工業分野に粘着事業を拡大

1986年
(昭和61年)

**UV硬化型ダイシングテープを開発し、
半導体関連分野に本格参入**



1987年
(昭和62年)

米国のマディコ社を買収

1990年
(平成 2年)

**四国製紙、創研化工と3社合併
「リンテック株式会社」に商号変更**

特殊紙、剥離紙・剥離フィルムから粘着紙・
粘着フィルム、関連機器分野にまで業容を拡大



1991年
(平成 3年)

液晶関連分野に本格参入

1994年 リンテック・インドネシア社を設立

(平成 6年)

2000年 リンテック・インダストリーズ(マレーシア)社を設立

(平成12年)

2002年 琳得科(蘇州)科技有限公司を設立

(平成14年)

リンテック・スペシャリティー・フィルムズ(韓国)社を設立

2003年 リンテック・スペシャリティー・フィルムズ(台湾)社を設立

(平成15年)

2004年 リンテック・コリア社を設立

(平成16年)

2011年 リンテック・タイランド社を設立

(平成23年)

2015年 リンテック・アジアパシフィック社を設立

(平成27年)

2016年 マックタック・アメリカ社を買収

(平成28年)



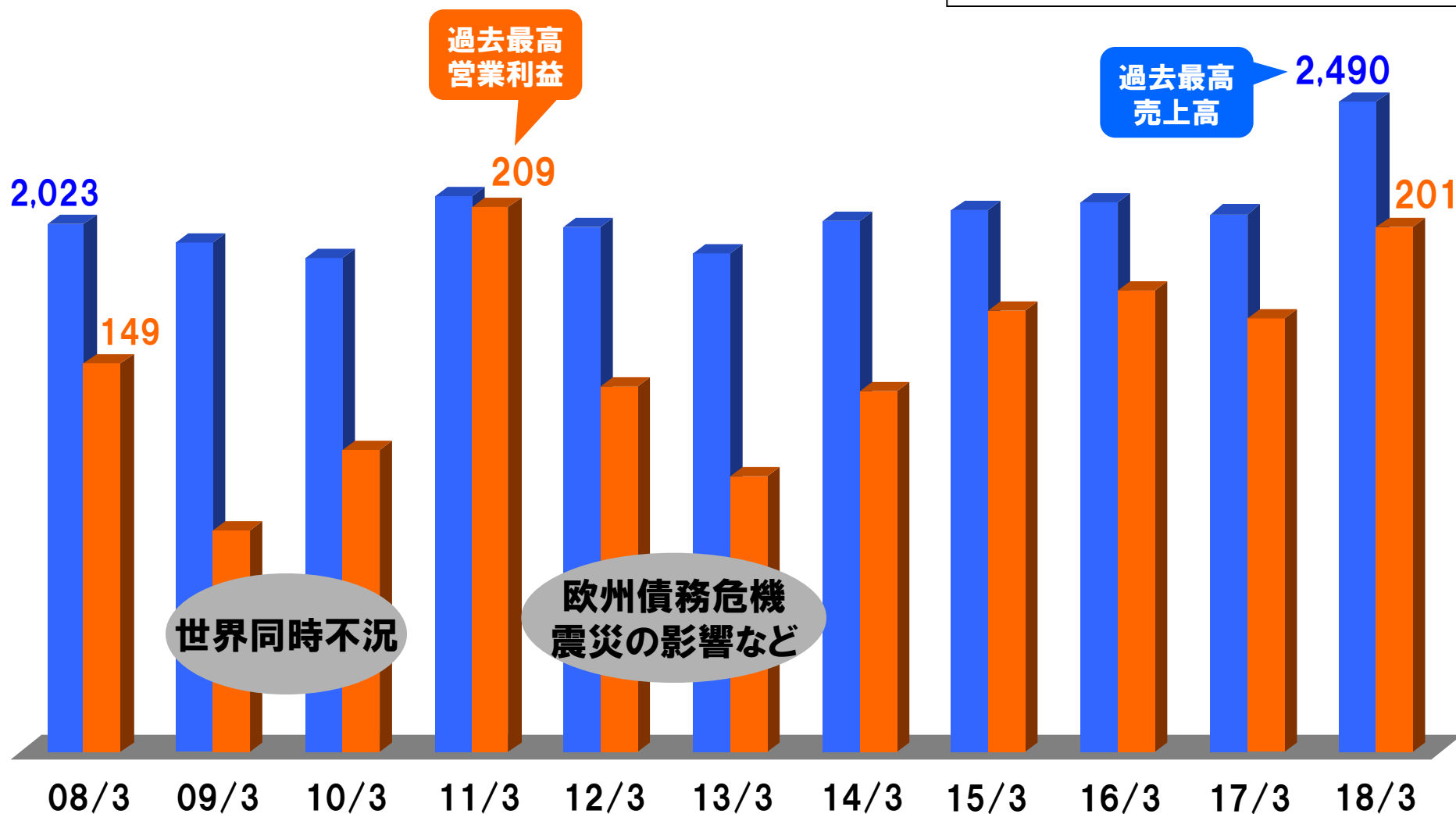
琳得科(蘇州)科技有限公司



リンテック・タイランド社

業績推移／売上高、営業利益

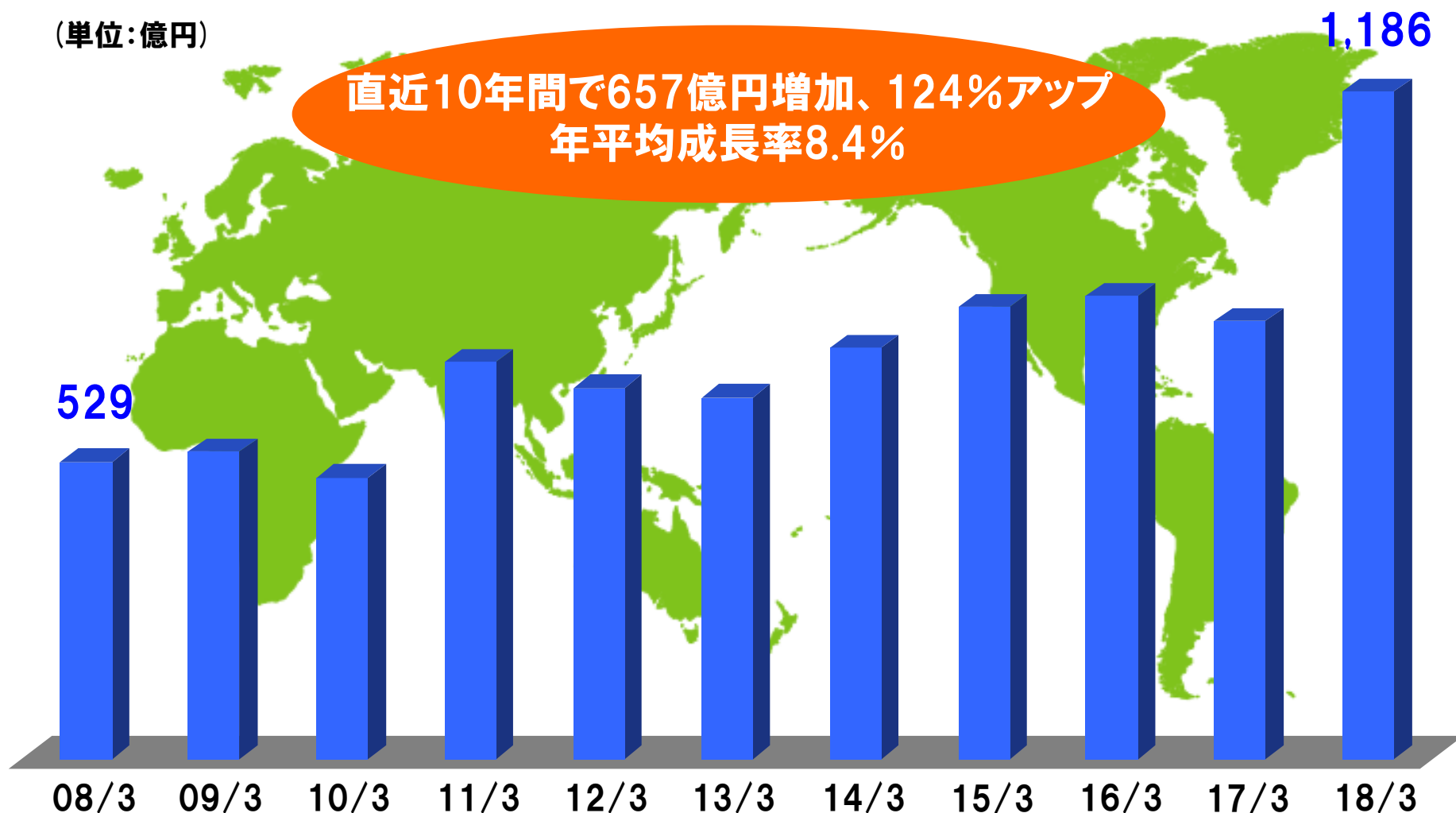
単位：億円 ■ 売上高 ■ 営業利益



業績推移／海外売上高

(単位:億円)

直近10年間で657億円増加、124%アップ
年平均成長率8.4%

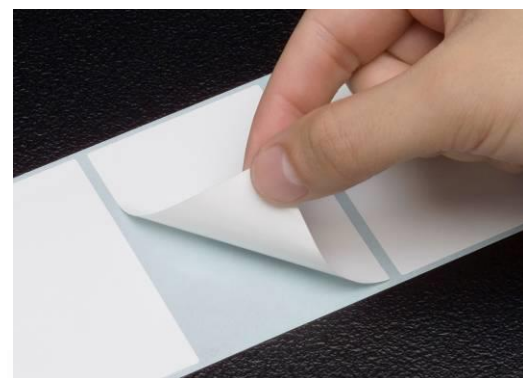


26.2%

海外売上高比率

47.6%

粘着製品の基本構成



① 表面基材（紙・フィルム）

- 表面加工
印刷・印字適性、耐久性など



② 粘着剤

③ 剥離紙・剥離フィルム

トータルに自社技術で対応

四つの基盤技術と事業セグメント

基盤技術

1

粘着応用技術

2

表面改質技術

3

システム化技術

4

特殊紙・剥離材製造技術

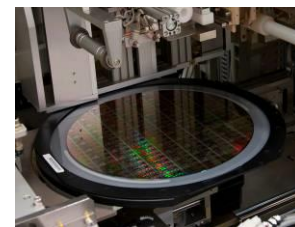
印刷材・産業工材関連

- 印刷・情報材事業部門
- 産業工材事業部門



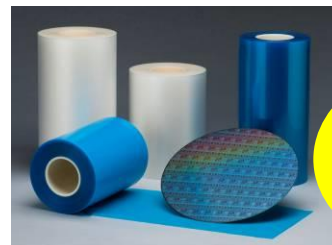
電子・光学関連

- アドバンストマテリアルズ事業部門
- オプティカル材事業部門



洋紙・加工材関連

- 洋紙事業部門
- 加工材事業部門



粘着製品
＋
関連機器



●ラベル用粘着紙・粘着フィルム

- 粘着剤によって、永久接着タイプ・再剥離タイプ・再貼付タイプに分けられる
- 印刷・印字適性、耐久性、耐熱性、耐水性、低温適性、曲面貼付性、寸法安定性、意匠性などに優れ、さまざまな用途や使用環境に対応

当事業部門売上高

871億円

35.0%

2018年3月期
連結売上高
2,490億円

■ラベル用粘着紙・粘着フィルムの用途／主な要求性能



●食品・飲料関連

- ・ 耐水性
- ・ 曲面貼付性
- ・ 低温適性 など



●日用品関連

- ・ 耐水性
- ・ 曲面貼付性
- ・ 意匠性 など



●家電関連

- ・ 耐久性
- ・ 耐熱性
- ・ ガス透過性 など



●自動車関連

- ・ 耐油・耐水性
- ・ 耐久性
- ・ 耐熱性 など



●医療・医薬関連

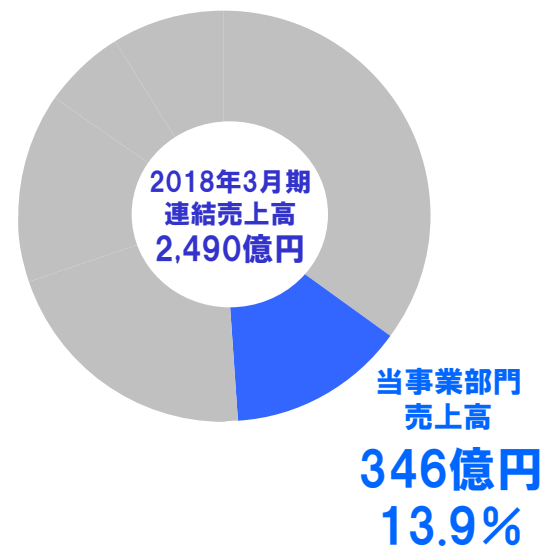
- ・ 印刷・印字適性
- ・ 耐薬品性
- ・ 改ざん防止機能 など



●流通・通販関連

- ・ 印字適性
- ・ 捺印適性
- ・ 低温適性 など

- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム
- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン など



●自動車用粘着製品

●ドアサッシ用塗装代替フィルム ▶▶▶

独自の材料設計によって、
空気を抜けやすくし、貼付を容易に



空気の入った状態



空気のない状態

●アルミホイール用保護フィルム

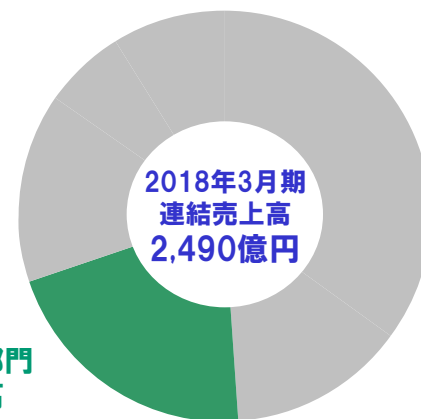


●マーキングフィルム

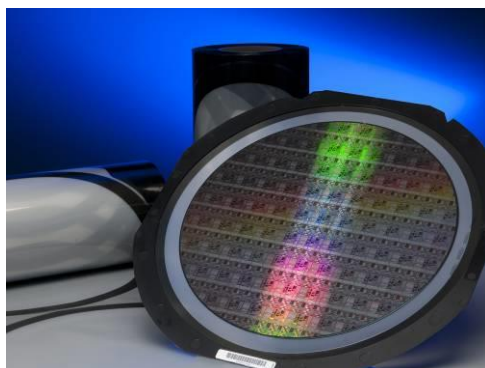
●ウインドーフィルム



- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ など



当事業部門
売上高
516億円
20.7%

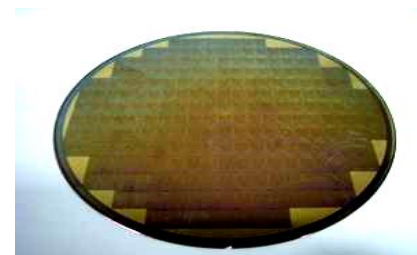


■半導体の製造工程

【前工程】

単結晶シリコン
インゴット

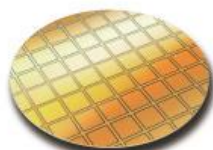
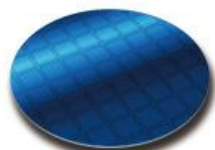
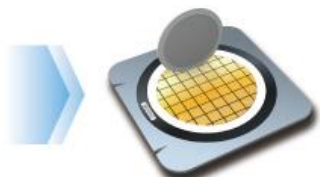
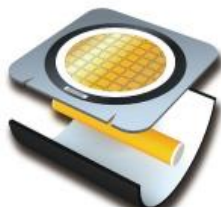
ウェハ



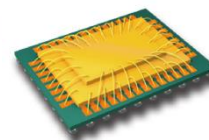
回路形成ウェハ

【後工程】

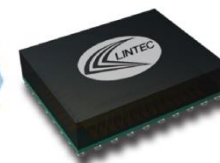
※当社テープ・装置を使用

回路形成
ウェハ表面保護
テープ貼付裏面研削
(薄型化)ダイシング
テープ貼付表面保護
テープ剥離ダイシング
(ウェハ切断)テープへの
紫外線照射

ピックアップ



実装・積層



樹脂封止

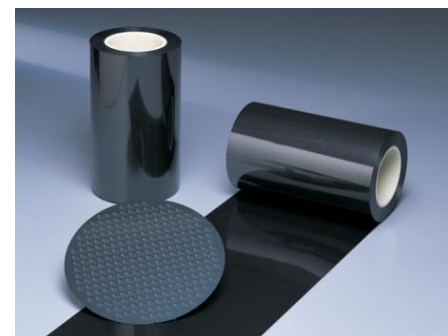
●半導体関連粘着テープ／注力製品

●フリップチップ裏面保護テープ

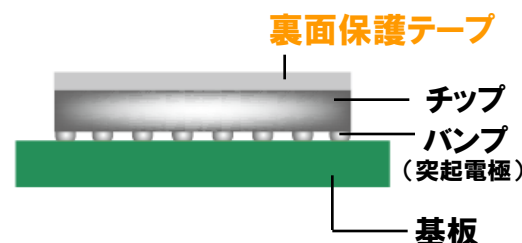
- ・回路面に bumps を形成し、基板に接続するフリップチップの裏面を保護・補強するテープ
- ・回路面への光透過を抑制し、回路面への悪影響を低減
- ・液状モールド剤のコーティングと異なり、厚みの均一性に優れ、作業工程を簡略化
- ・デバイスからの発熱を外部に放熱するタイプや、赤外線を透過するタイプもラインアップ

●極薄・ハイ bumps ウェハ対応表面保護テープ

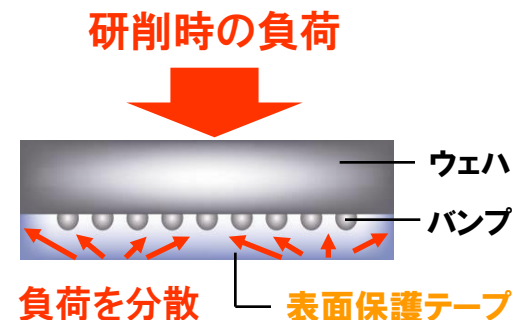
- ・特殊設計により、研削後の薄型ウェハの反りを抑制
- ・回路面に形成された bumps の凹凸にも、すき間なく貼ることができ、ウェハ表面の汚染を防止
- ・ウェハにかかる研削時の負荷を分散して破損を抑制



■フリップチップ実装

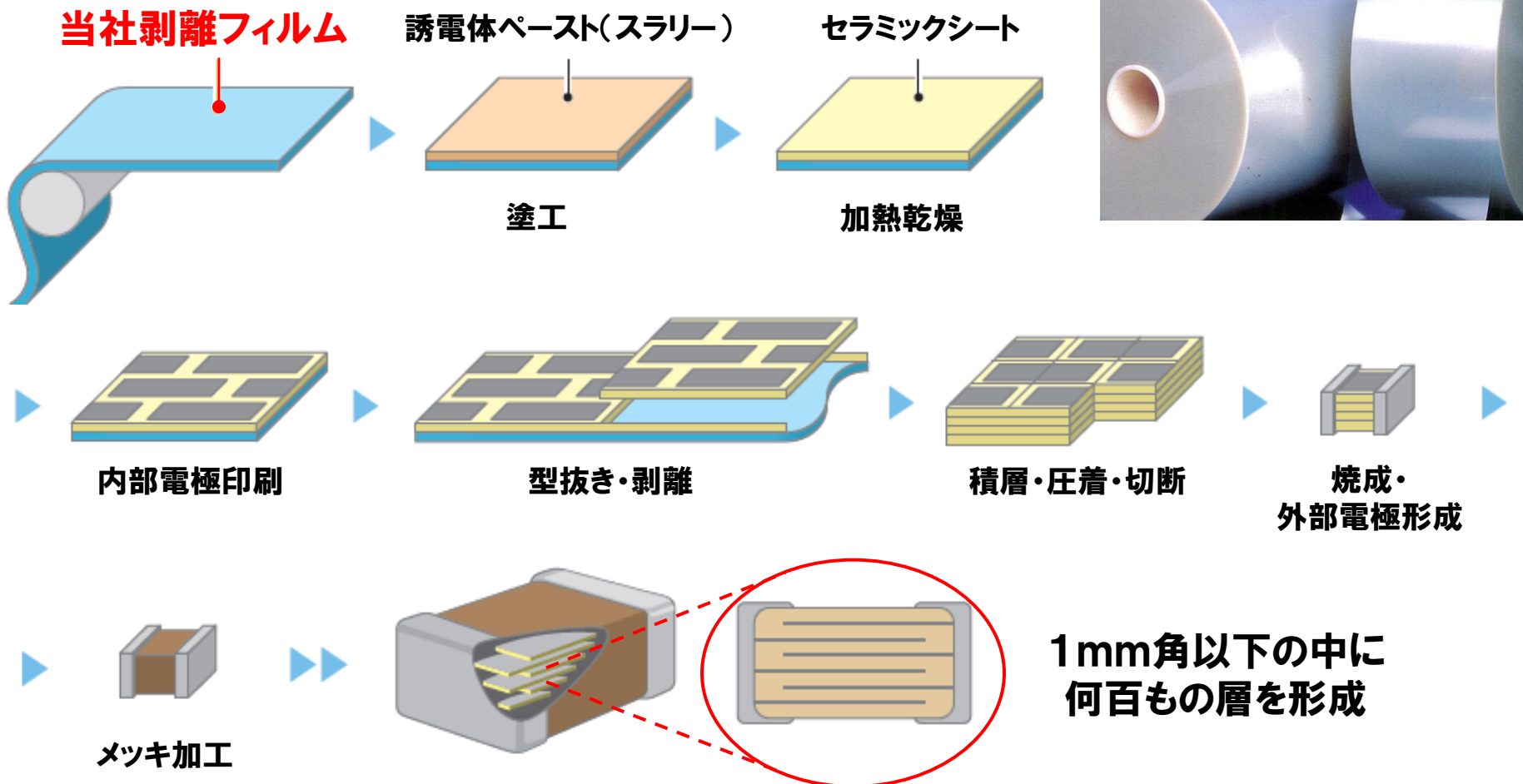


■裏面研削工程



● 積層セラミックコンデンサ関連テープ

■ 積層セラミックコンデンサの製造工程



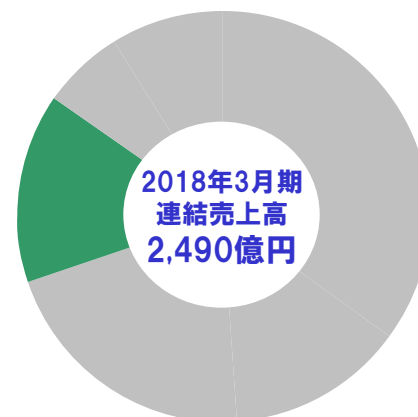
● 液晶・有機ELディスプレイ関連粘着製品

● 偏光・位相差フィルム / 粘着加工

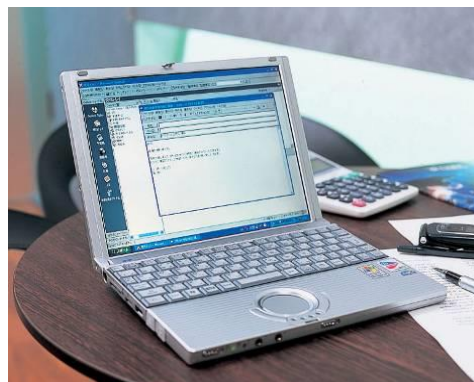
● 偏光フィルム / 表面加工

● 偏光フィルム用保護フィルム など

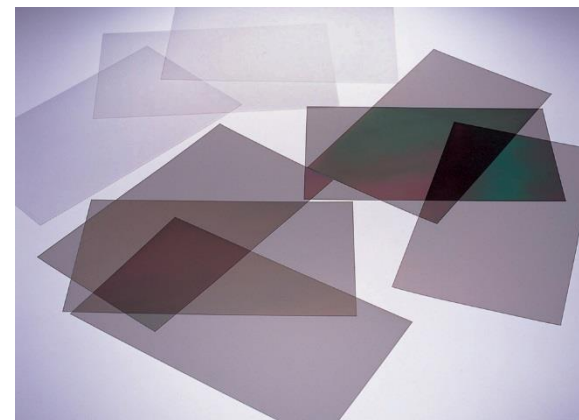
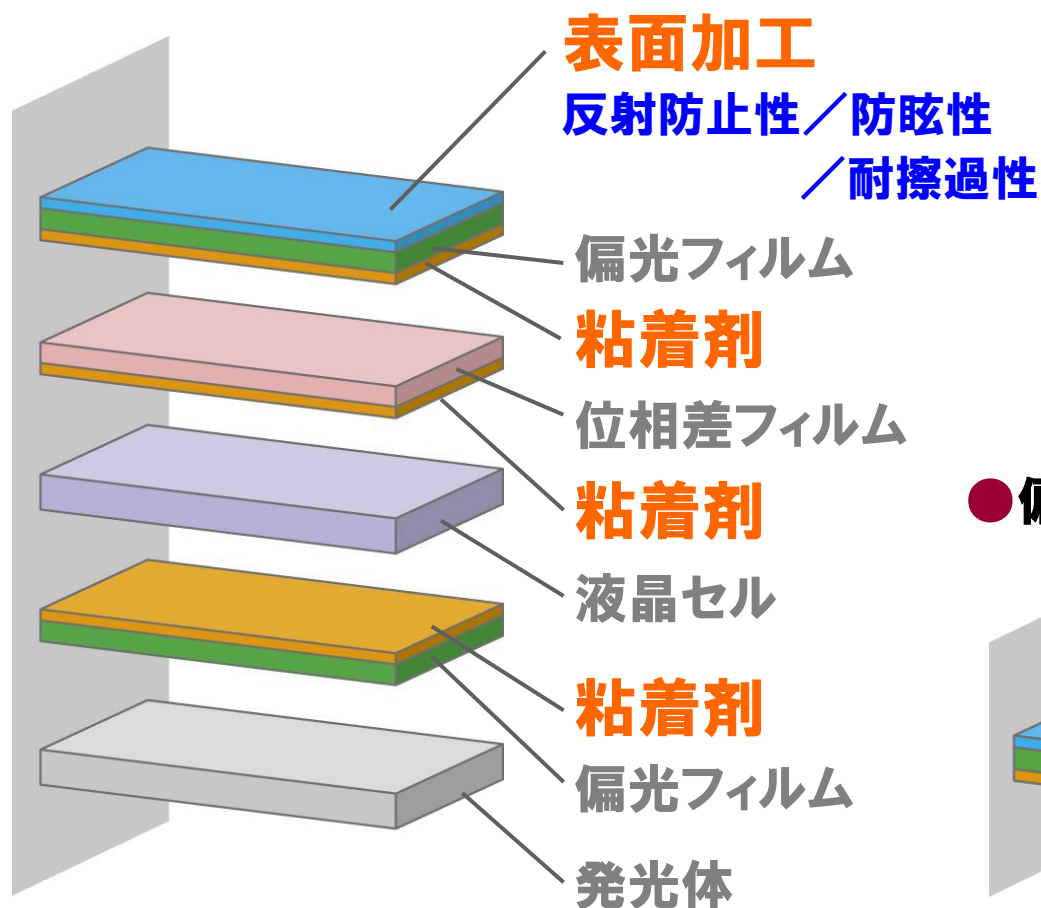
当事業部門
売上高
372億円
15.0%



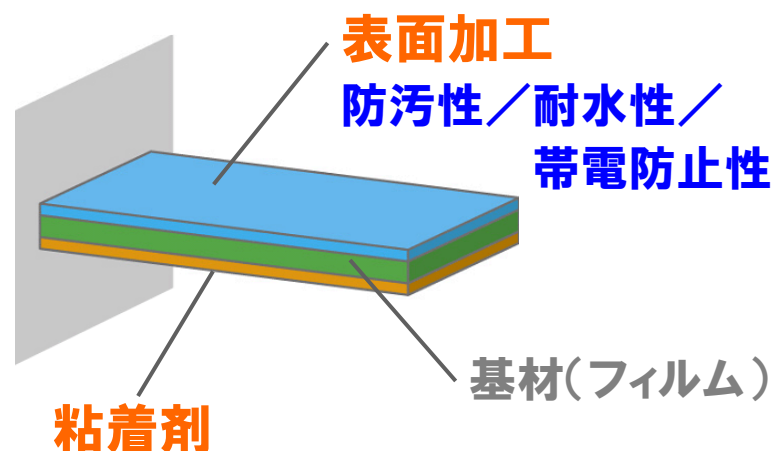
2018年3月期
連結売上高
2,490億円



■ 液晶ディスプレイの構成



● 偏光フィルム用保護フィルム

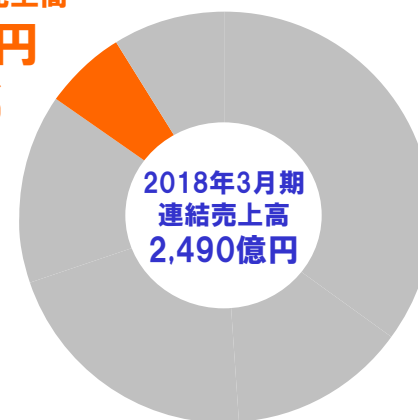


- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙(無塵紙、耐油耐水紙など)
- 高級印刷用紙
- 高級紙製品用紙 など

当事業部門売上高

164億円

6.6%

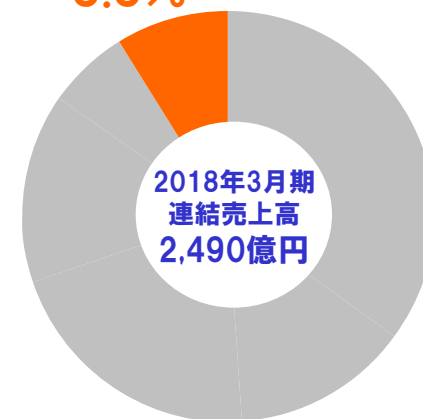


- 粘着製品用剥離紙
- 電子材料用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙 (剥離紙)
- 炭素繊維複合材料用工程紙 (剥離紙) など

当事業部門売上高

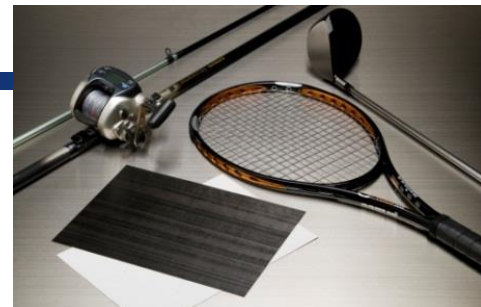
220億円

8.8%



●炭素繊維複合材料用工程紙

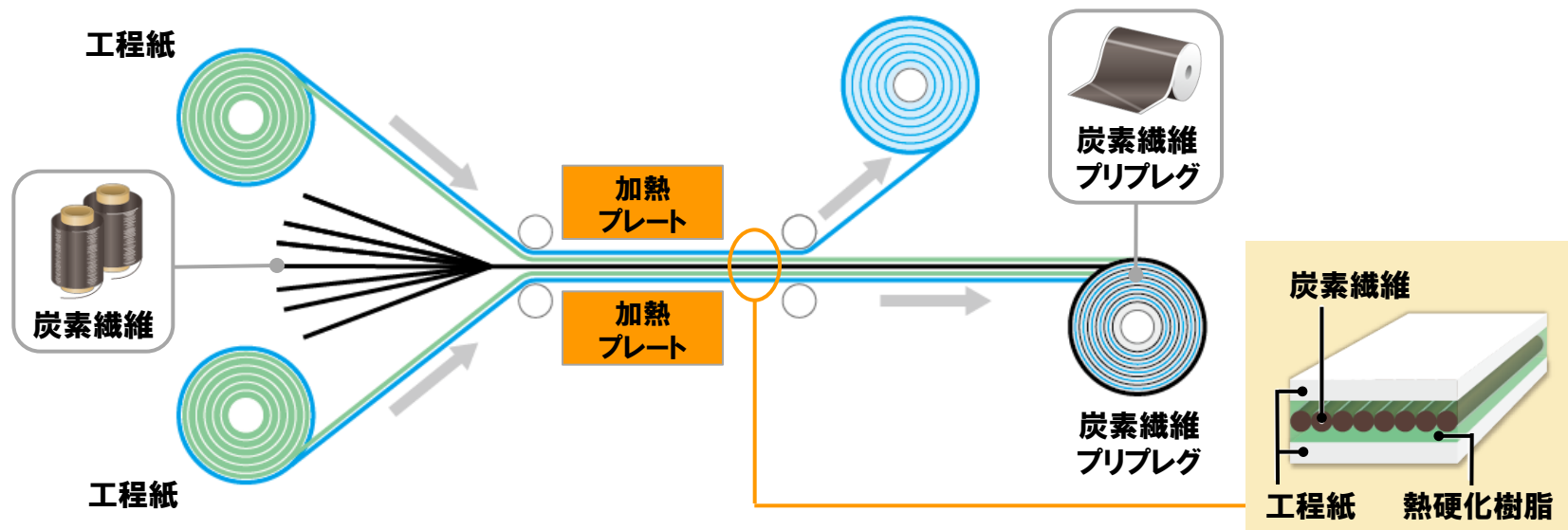
- ・炭素繊維をシート状に並べて樹脂で固めた複合材料「炭素繊維プリプレグ」をつくる際に台紙として使用
- ・炭素繊維プリプレグは、テニスラケットやゴルフシャフト、釣り竿などのスポーツ・レジャー用品のほか、航空機の機体などに使用され、需要が拡大している



主な特徴

- ・樹脂塗工適性
- ・耐熱性
- ・強度
- ・表裏の剥離力バランス

■炭素繊維プリプレグの製造工程

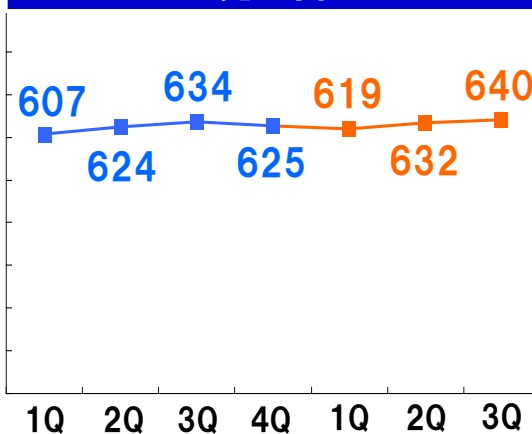


2019年3月期第3四半期 連結業績

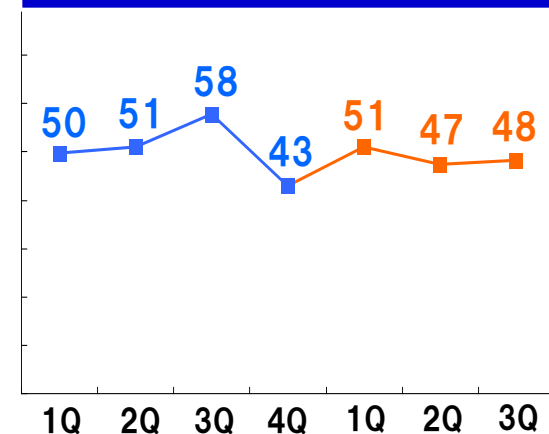
(単位:億円)

	19/3月期 3Q実績	18/3月期 3Q実績	増減 (増減率)
売上高	1,891	1,865	26 (1.4%)
営業利益	146	158	▲12 (▲7.4%)
税金等 調整前 四半期 純利益	146	148	▲2 (▲1.2%)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	102	101	1 (1.1%)

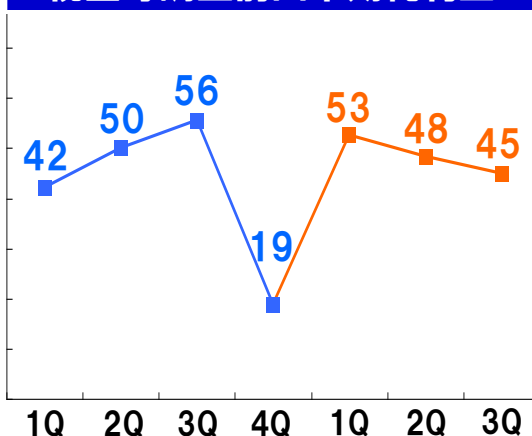
売上高



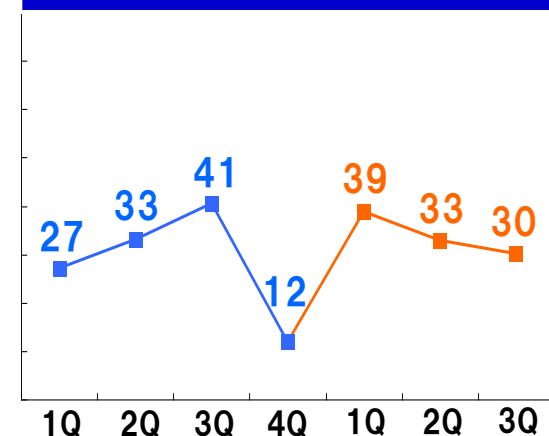
営業利益



税金等調整前四半期純利益



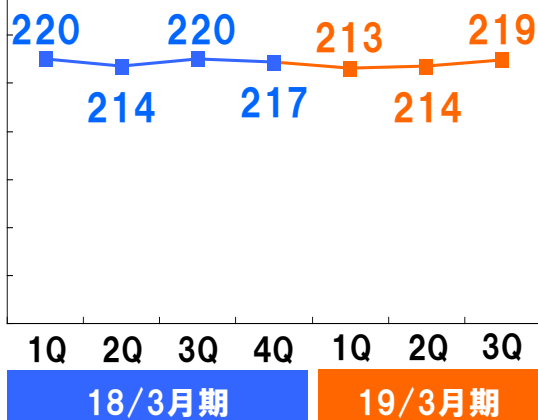
親会社株主に帰属する四半期純利益



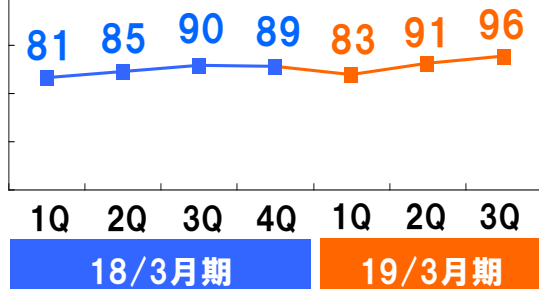
(単位:億円)

印刷材・ 産業工材 関連	(単位:億円)		
	19/3月期 3Q実績	18/3月期 3Q実績	増減 (増減率)
印刷・情報材 事業部門	646	654	▲ 9 (▲1.3%)
産業工材 事業部門	271	257	14 (5.6%)
セグメント 売上高	917	911	6 (0.6%)
セグメント 営業利益	32	23	9 (37.9%)

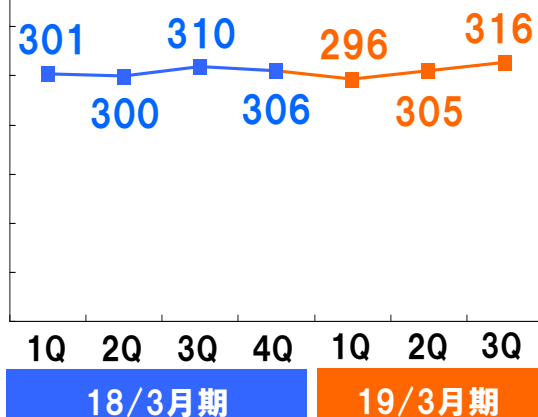
印刷・情報材事業部門 売上高



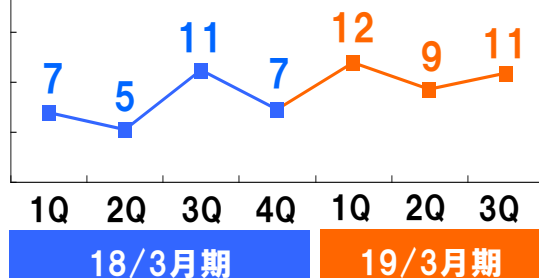
産業工材事業部門 売上高



セグメント売上高



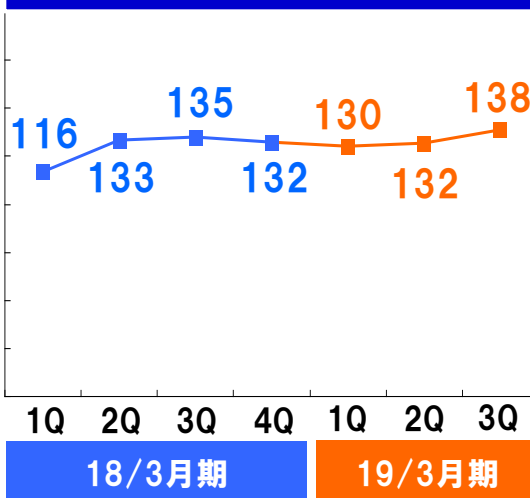
セグメント営業利益



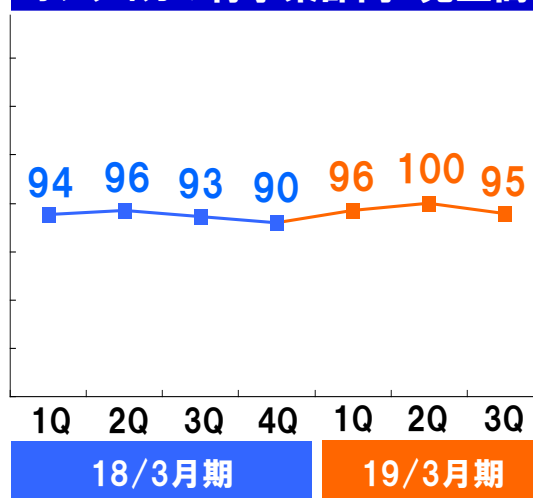
(単位:億円)

(単位:億円)			
電子・光学 関連	19/3月期 3Q実績	18/3月期 3Q実績	増減 (増減率)
アドバンス マテリアルズ 事業部門	400	384	15 (4.0%)
オプティカル材 事業部門	290	283	7 (2.5%)
セグメント 売上高	690	667	23 (3.4%)
セグメント 営業利益	92	95	▲ 3 (▲3.2%)

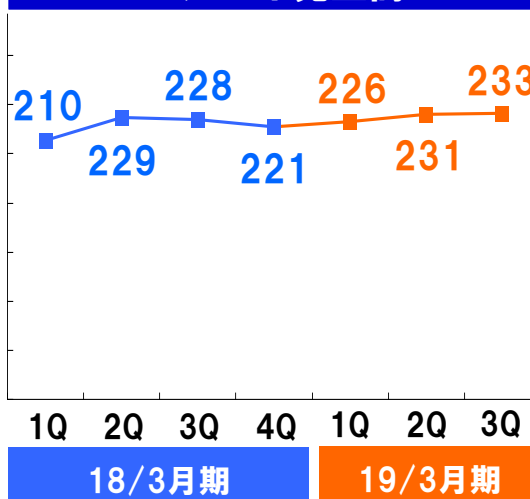
アドバンスマテリアルズ事業部門 売上高



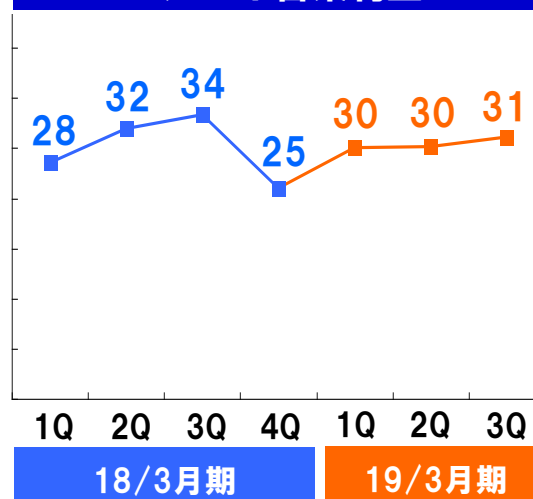
オプティカル材事業部門 売上高



セグメント売上高



セグメント営業利益

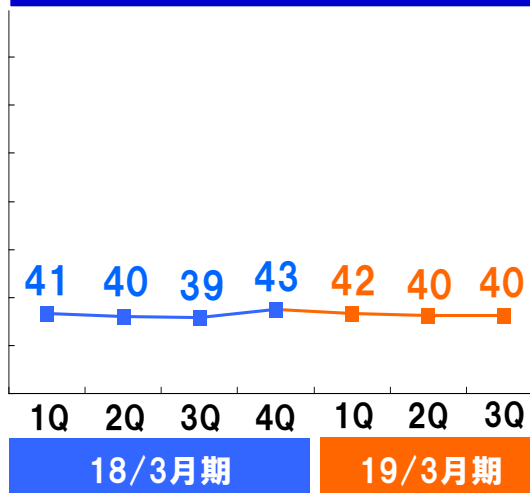


洋紙・加工材関連

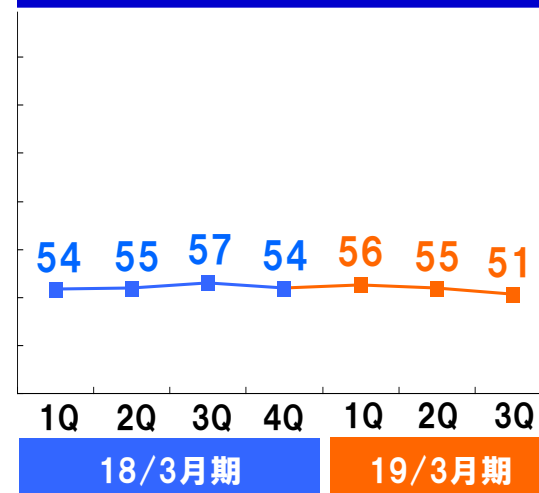
(単位:億円)

(単位:億円)			
洋紙・加工材 関連	19/3月期 3Q実績	18/3月期 3Q実績	増減 (増減率)
洋紙 事業部門	122	121	1 (1.0%)
加工材 事業部門	162	166	▲ 3 (▲2.0%)
セグメント 売上高	285	287	▲ 2 (▲0.7%)
セグメント 営業利益	22	40	▲17 (▲43.3%)

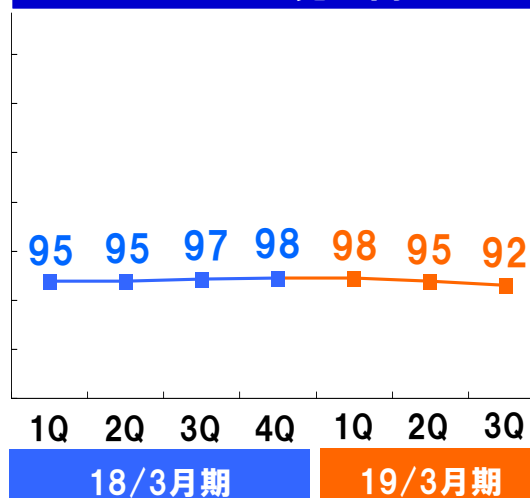
洋紙事業部門 売上高



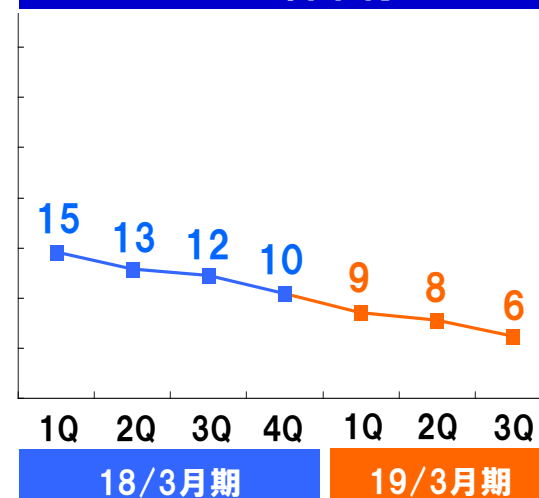
加工材事業部門 売上高



セグメント売上高



セグメント営業利益

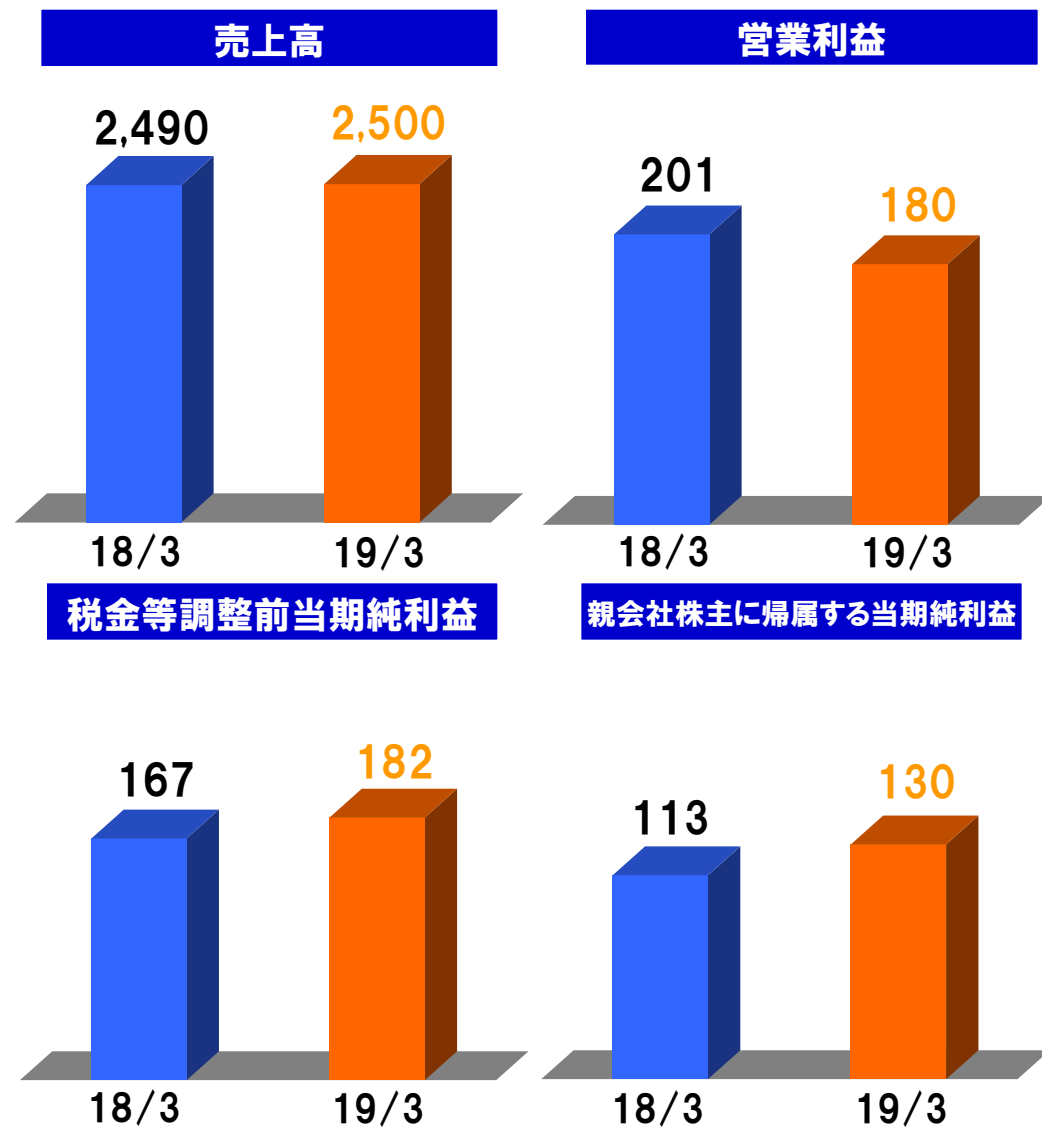


2019年3月期通期 連結業績の見通し

(単位:億円)

	19/3月期 通期予想	18/3月期 通期実績	増減 (増減率)
売上高	2,500	2,490	10 (0.4%)
営業利益	180	201	▲21 (▲10.4%)
税金等 調整前 当期 純利益	182	167	15 (9.2%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	130	113	17 (15.5%)

単位:億円 実績 予想



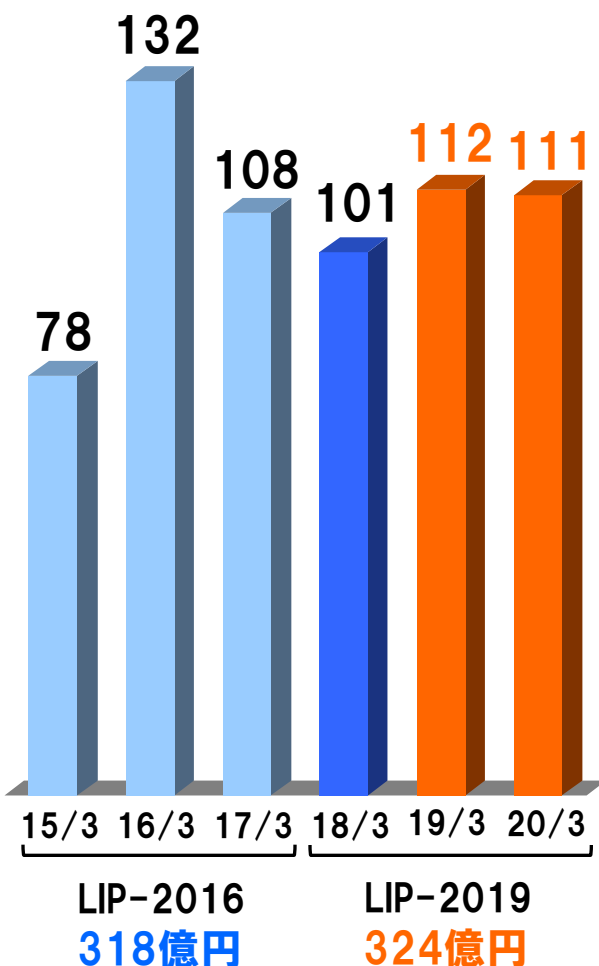
2019年3月期通期 セグメント別売上高/営業利益の見通し

(単位:億円)				(単位:億円)				(単位:億円)			
印刷材・ 産業工材 関連	19/3 通期 予想	18/3 通期 実績	増減 (増減率)	電子・光学 関連	19/3 通期 予想	18/3 通期 実績	増減 (増減率)	洋紙・加工材 関連	19/3 通期 予想	18/3 通期 実績	増減 (増減率)
印刷・情報材 事業部門 売上高	870	871	▲ 1 (▲0.2%)	アドバンス マテリアルズ 事業部門 売上高	527	516	11 (2.1%)	洋紙 事業部門 売上高	168	164	4 (2.2%)
産業工材 事業部門 売上高	361	346	15 (4.5%)	オプティカル材 事業部門 売上高	363	372	▲ 9 (▲2.5%)	加工材 事業部門 売上高	211	220	▲ 9 (▲4.2%)
セグメント 売上高	1,231	1,217	14 (1.2%)	セグメント 売上高	890	889	1 (0.1%)	セグメント 売上高	379	385	▲ 6 (▲1.4%)
セグメント 営業利益	43	30	13 (41.4%)	セグメント 営業利益	106	120	▲14 (▲11.5%)	セグメント 営業利益	31	50	▲19 (▲38.0%)

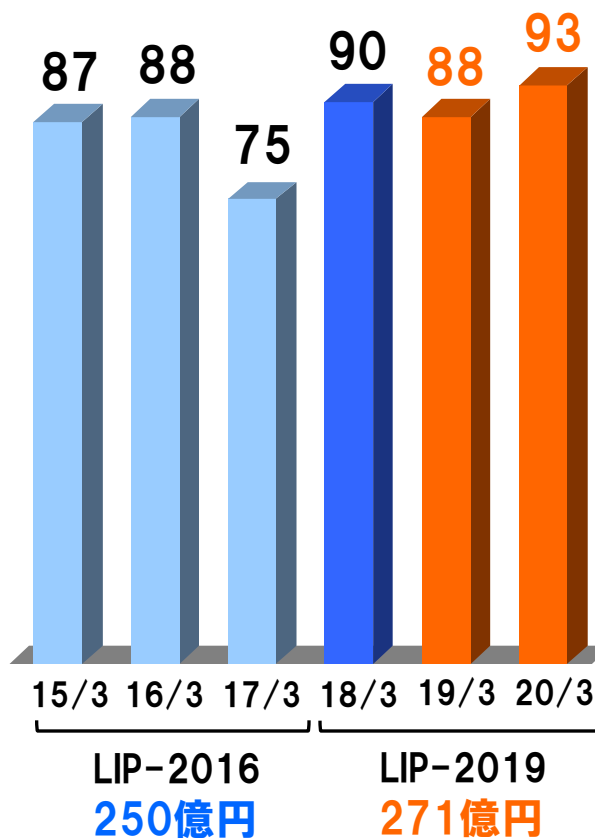
設備投資額・減価償却費・のれん償却額・研究開発費

単位: 億円 ■実績 ■見通し

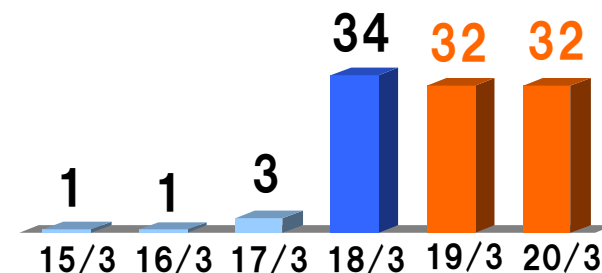
設備投資額



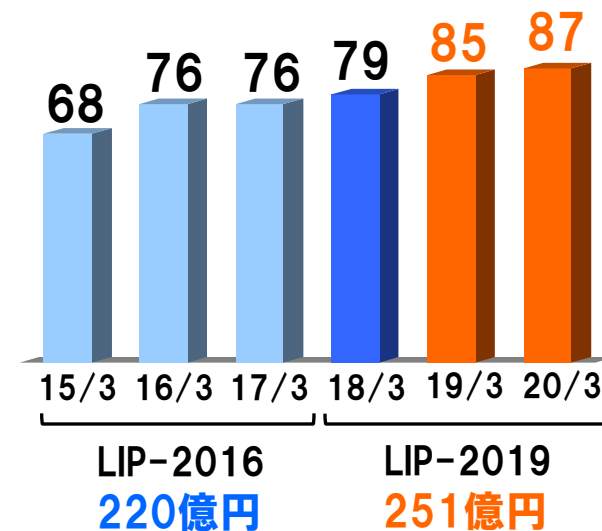
減価償却費



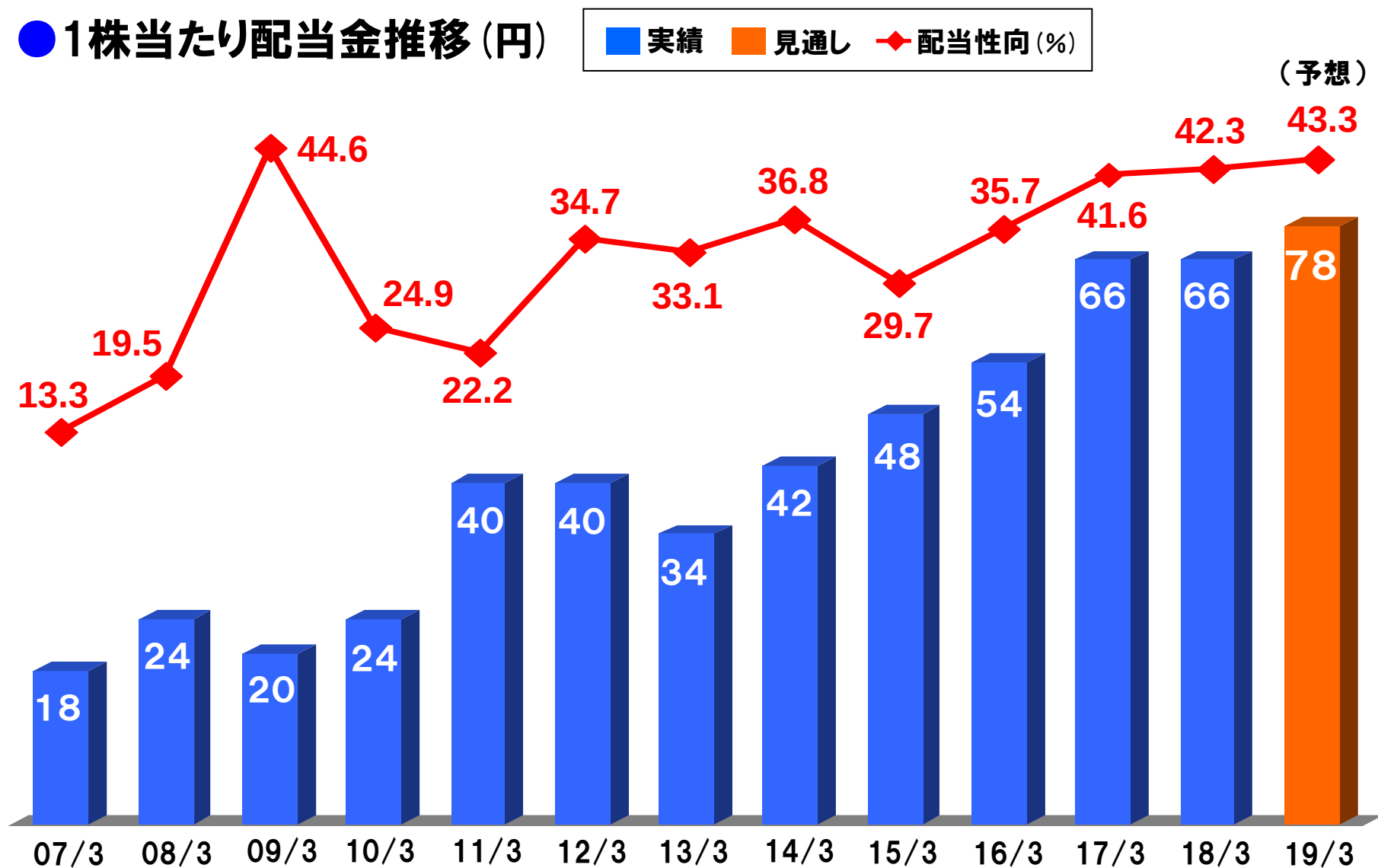
のれん償却額



研究開発費



● 1株当たり配当金推移 (円)



名 称 LIP (LINTEC INNOVATION PLAN) -2019

期 間 2017年4月～2020年3月

基本方針 **イノベーションをさらに深化させ、新たな成長にチャレンジ**

重点テーマ

1. 地域戦略の強化
2. 新たな価値の創造
3. 企業体質の強靱化
4. 持続可能な社会の実現に向けた取り組み

最終年度の主要数値目標

■売上高	2,700億円	■売上高営業利益率	9%以上
■営業利益	250億円	■ROE (自己資本利益率)	9%以上

直近のM&A実績

● MACTAC AMERICAS, LLC

創 業： 1959年

所 在 地： 米国 オハイオ州

従業員数： 496人 (2016年12月末現在)

事業内容： 印刷用ラベル素材、可変情報用ラベル素材
グラフィックシート、工業用テープ、医療用
テープなどの製造・販売

売 上 高： 342億円 (2016年12月期)

営業利益： 36億円 (2016年12月期)

取得価額： 約270百万USD* (取得割合100%)
* 引受債務を含まず

取 得 日： 2016年12月1日

- ・北米のラベル用粘着紙・粘着フィルム市場へ本格参入
- ・同社の販売チャネルを生かし、リンテック製品を積極的に拡販



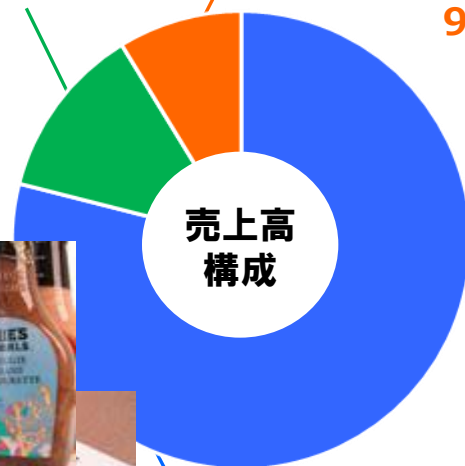
グラフィックシート
11%



工業用テープ
医療用テープなど
9%



印刷用ラベル素材
可変情報用ラベル
素材
80%



●VDI, LLC

創 業： 1971年

所 在 地： 米国 ケンタッキー州

従業員数： 36人 (2016年12月末現在)

事業内容： 機能性フィルムの製造・販売

売 上 高： 10.7億円 (2016年12月期)

営業利益： 0.2億円 (2016年12月期)

取得価額： 26百万USD* (取得割合100%)
* 引受債務を含まず

取 得 日： 2016年10月31日

- ・リンテックが保有していなかった金属蒸着やスパッタリングなどのメタライジング技術の取り込み
- ・新たな分野での事業展開

●LINTEC EUROPE (UK) LIMITED

(旧 LINTEC GRAPHIC FILMS LIMITED)

創 業： 1993年

所 在 地： 英国 バックinghamシャー州

従業員数： 18人 (2016年10月末現在)

事業内容： 印刷用ラベル素材、グラフィックシートなどの加工・販売

売 上 高： 8.5億円 (2016年10月期)

営業利益： 1.3億円 (2016年10月期)

取得価額： 7,300千GBP (取得割合100%)

取 得 日： 2016年11月30日

- ・2010年にライセンス契約を締結し、リンテック製品を欧州市場に販売
- ・同社のマーケティング力と販売網の活用による新規顧客開拓の加速

●社是



●経営理念

社名の「リンテック」、すなわち“リンケージ（結合）”と“テクノロジー”および社是「至誠と創造」に裏付けされる人の和、技術開発力を基軸とし、国内・海外の業界において、だれからも信頼される力強い躍動感あふれる会社として社会に貢献し、株主各位・顧客・社員家族の期待にこたえる斬新な経営を推進します。

「明日を考え、今日を築こう」
For tomorrow we build today

本資料および当社製品などに関するお問い合わせ先

リンテック株式会社 広報・IR室

〒173-0001 東京都板橋区本町23-23

TEL.03-5248-7741

本資料に掲載されている業績見通しに関する内容につきましては、本資料の作成日現在において想定できる経済情勢、市場動向および計画などに基づき作成したものであり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。したがって、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって異なる可能性があります。